

INFINITY

～ 4 月 26 日（水）6 限 サイバー犯罪防止講演会 まとめ ～

NIT 情報技術推進ネットワーク株式会社代表取締役の篠原 嘉一（しのはら かいち）さんを講師に招き講演会を行いました。篠原さんの講演会は、自分のスマホを持参させ、説明を聞きながら実際にスマホを操作するスタイルです。多くの生徒が利用している SNS アプリ（インスタグラムなど）を開き、スマホが危険な状態になっていないかを確認しました。説明に沿って作業すると、乗っ取りや追跡をされている可能性が見つかる生徒もちらほらと。ときより体育館がざわつく様子もありました。「自分は大丈夫」と思っていた人ほど意外と危ない状態になっていたのではないのでしょうか。もちろん設定変更の説明もあり、危険な状態を解除するところまでケアしていただきました。他人事ではないリアルな内容を、実践型の講義で丁寧に説明してくださるので、伊丹西高校は篠原さんの講演会のリピーターになっています。

また、被害者目線ではなく加害者目線のことも考えさせられました。安易な投稿はもちろん NG です。さらに日頃から思いやりの行動を心がけていれば、周りの人に、不快な思いをさせたり迷惑をかけたりしないようにできるはずです。「優しさ」という感情は、とても意識的な感情です。あなたが快適であったり、楽しかったりするときは、誰かがさりげなく気を配ってくれているおかげだと思います。大切な仲間と、良好な関係を築くために、意識的に接しているということです。

ニュースで取り上げられるような炎上する投稿を見て、不快な思いをしたことがあると思います。私たち 45 回生はどうでしょうか？そこまで大胆な迷惑行為はないとしても、学校生活に慣れ安易な行動をとってしまっている場面がありませんか？そんなことが続くと残念な思いをする人が出てきてしまいます。直接注意したくてもなかなかできないでしょう。波を立てないように我慢して接してくれていることに気づいてください。その「優しさ」に甘えないでください。各クラスでも集会などでも、その都度、生活面の話をしてきました。すでに安易な行動を指摘されることもあったと思います。まだ今なら立て直せます。仲間を大切にしてください。大切な仲間には不快な思いをさせないでください。

保護者の皆さまへ、お子様は家に帰ったら何時間もスマホを触っていませんか？家には校則はありません。だからこそご家庭での決まりを作ってみてはいかがでしょうか。伊丹西高校では、安心・安全な学校生活を送るため「校内は電源オフでカバンへ入れる」というルールを運用しているだけでなく、このような講演会を設け、スマホについて考える機会を作っています。ご理解ご協力をお願いいたします。合わせて、ご家庭でもお子様と一緒にスマホとの付き合い方について確認していただけたら幸いです。